

学校だより 加茂野小学校

学校の教育目標

豊かな心とやりぬく力をもつ加茂野の子
考える子・優しい子・元気な子



コミュニティ・スクール 推進

6月のある日、家庭科室から久しぶりに良い香りがしてきました。のぞくと、6年生の子たちが調理実習をしています。野菜を炒めるジューツという音と、香ばしい香りがただよっています。が、子どもたちは必死です。恐る恐る包丁を握りしめ「人参どちらから切るの？」という子、熱くなったフライパンの前に「いつ野菜を入れたらいい？」と固まっている子。切った野菜がまな板に山盛りになり「これ、どうしたらいい？」という子。あちこちで「先生～」というヘルプを求める声が。でも、そんな声に地域のサポーター先生が対応してくださり、担任は大助かりです。コロナ禍でできなかった調理実習が今年やっとできるようになり、5・6年の調理実習に、学校運営協議会に紹介していただいた4名の地域の方が、手伝ってくださっているのです。



また、先日、1・2年生と特別支援学級の子どもたちがサツマイモの苗植えをしました。昨年に引き続き、今年も地域の方が苗を分けてくださり畑も貸してくださったため実現しました。これも、学校運営協議会のご縁です。

学校運営協議会とは、学校・地域・保護者が、「どんな子どもたちを育てていきたいか」という目標やビジョンを共有し、学校運営や必要な支援について協議を行い、連携・協働して取り組んでいく機関です。今年度は下記の方々为学校運営協議会の委員として、学校と地域をつないで学校運営を一緒に支えてくださいます。6月13日の第1回学校運営協議会では、令和5年度の学校経営方針の共有・承認後、スローガン「**地域の一員として進んで関わり、ふるさと加茂野が大好きな子**」を確認し、今後の方向性について話し合いました。

「地域も学校にどんどん関わっていくけど、子どもたちも地域の行事にどんどん参加してほしいね。」「夏の加茂野フェスティバルにPTAが参加できないかな。」「カナクズ山のハイキングコースを整備中。親子でウォーキングできるね。」「昨年作成した地域の人材バンクをさらに活用し、学習支援や総合的な学習の時間の充実を図っていきたいね。」



「自己表現を高めるために朗読講座ができそうよ。」「子どもの登下校見守り隊のジャケットや保護者が使える安全旗を作ったらどうかな。」など、熱い議論が交わされました。こうした**学校運営協議会が設置された学校のことをコミュニティ・スクール**といいます。

子どもたちのために、地域のために、さらに実働的な学校運営協議会を備えたコミュニティ・スクールとなるよう努力してまいりますので、どうかご協力よろしくお願いたします。

町づくり協議会会長	高井克己様	学識経験者	渡邊由美子様	前主任児童委員	森田広美様
自治会長会副会長	野尻政俊様	交通安全協会加茂野分会長	足立哲男様	かもん代表	森優美子様
楽習広場代表	丸山善典様	加茂野保育園長	佐藤かすみ様	加茂野児童館長	高井直美様
明応こども園副園長	佐々木頭様	加茂野消防団第5分団長	中島彰宏様	PTA会長	安江雅美様
PTA副会長(子育て代表)	藤吉浜子様	以上の方々、学校運営協議会委員の皆様です。			